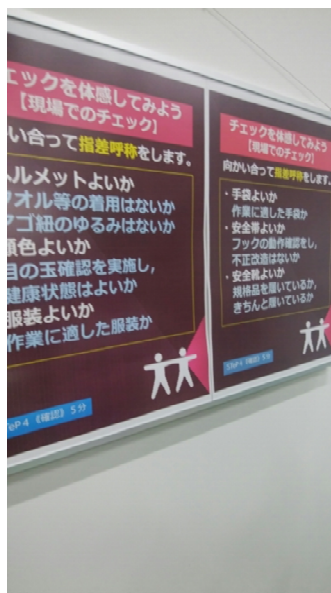


名称	三機テクノセンター
場所	神奈川県大和市中中央林間 7-10-1
施設の概要	三機テクノセンターは、三機工業グループの創立 100 周年長期ビジョンのなかの最初のテーマとして掲げられている「技術と人を磨くことによる「質」の向上」の戦略拠点として、2018 年 10 月に開設された。 施設を構成する 3 エリアとその機能・特徴。 ① 技術・技能研修エリア：実際の施工現場を再現し、実機が置かれており、実践的な研修が行える。実機はスケルトンになっており、中身が確認できたり、150 か所の正誤を持つ施工例を並列して設置することで間違い探しを行わせたりする仕組みになっている ② 安全体感エリア：危険を体感しながら安全管理の重要性を学ぶことができる。内容は、下記の「研修内容」のとおり ③ テクノプラザ：三機工業の技術紹介エリア。アメニティ（快適性）、インダストリー（産業）、エコ&エナジー（省エネ）、エンバイロメント（環境）のエリアがある。優れた技術が紹介されているが、最も興味を持ったのは、日本酒の雪室熟成でした 本センターは、宿泊施設もあり、大和市と帰宅困難者受け入れ協定を締結している。また、当日は、雨で見学できなかったが、一般公開されている「三機環境園」がある。芝生があり、緑も多いことから、近くの保育園児が遊びに来るそうだ
「安全体感エリア」研修内容	不安全状態、不安全行動を学び、災害を起こさない意識をいかに強く持つかをテーマに疑似体感を体験する。五感で感じて、心に刻む、がキャッチフレーズである。 ① エリアの入り口では、マネキン「新人くん」の身だしなみや保護具のチェックを行う。他にセルフチェック、相互チェックを行う ② 切れ・こすれ：原因・予防策・災害が起きないように作業手順が提示され、切創防止手袋の強度体感ができる



- ③ 感電：汗をかいていると感電を起こしやすいことが体験できる。なお、作業員が携帯する検電器の正しい使い方を学ぶことができる
- ④ 墜落：人間の頭蓋骨と同硬度の植木鉢にかぶせたヘルメットに 4Kg の鉄アレイを落とし、強度を確認することができる。フルハーネス型墜落制止用器具の体感もできる



- ⑤ VR：



出来合いのものを購入して体験させるのではなく、他ゼネコン数社と組んだワーキンググループと制作会社とで創りあげた完全オリジナルのソフトを導入している。

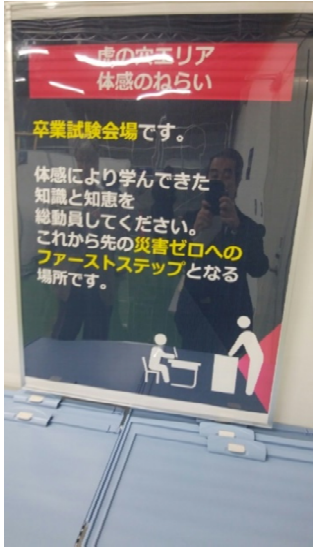
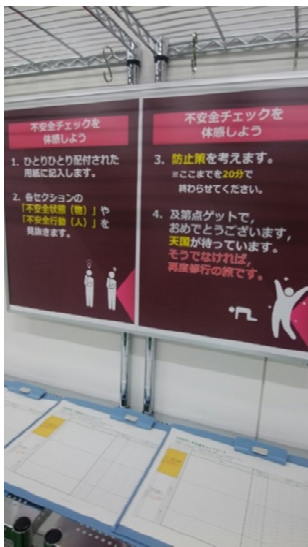
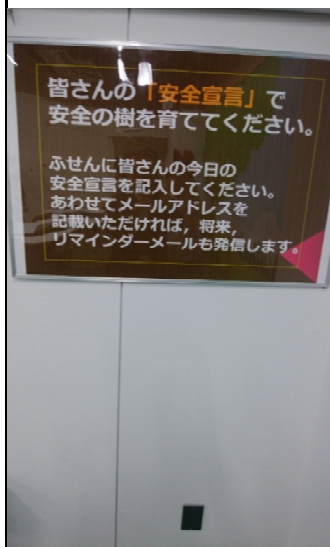
第三者目線でのリプレイを観ることができる災害体験はもちろん、実施した作業や点検結果を採点する学習可能な VR となっている

研修の最後は、卒業試験である。

不合格の場合は、追試がある。合格すれば、卒業で、安全宣言で安全の樹を育てていく。安全宣言にメールアドレスを記載すれば、リマインドされる。

また、アロマセラピーの効果を活用した記憶への刷り込みという試みも行われている。

今回は、見学しなかったが、石綿、酸欠・有機溶媒、心肺蘇生などもある

	  
今後の展開	今後、更にリニューアル、拡張していくとのこと。 社員の他、グループ会社、協力会社にも公開している。
見学日	2019.6.11 三谷（記事、写真）